

H22補正

日本製HFO人工呼吸器の安全機能強化による海外事業展開 (株)メラン、日本光電工業(株)、(独)国立成育医療研究センター (財)埼玉県産業振興公社

人工呼吸器に関する医療事故の約90%を防止するシステムを開発

- 人工呼吸器のトラブルの中でも多い「食道挿管、挿管チューブ外れ」「回路外れ、誤接続」等の変化が一番早く表れるCO2濃度を排気口で測定することにより、人工呼吸器に関する医療事故の約90%を防止するシステムを開発する。
- 検出したアラーム情報を遠隔通報、ナースコールシステムと連携する安全管理システムを開発し二重の医療事故防止機能を持たせる。

安全機能強化型・HFO人工呼吸器の事業化を先行させる。 事故検出サブシステムについては追加的な検討。

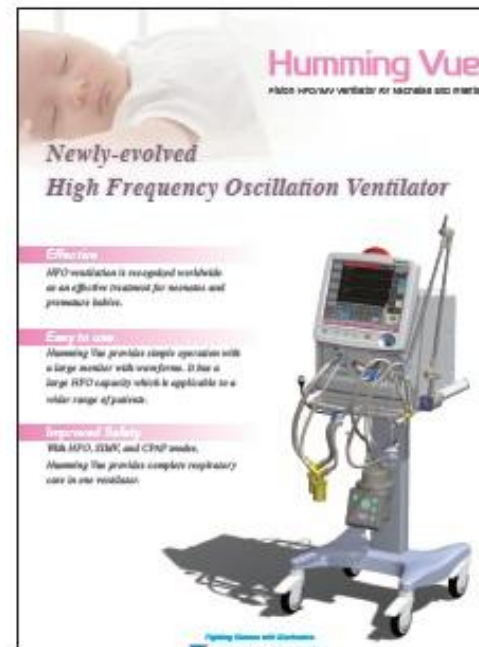
人工呼吸器に関する医療事故の約90%を防止するシステムは、「安全機能強化型・HFO人工呼吸器」と「事故検出サブシステム」から構成されます。

- 安全機能強化型・HFO人工呼吸器(事故検出サブシステムとのインターフェース搭載)を“ハミングビュー”として先行して製品化。
- 事故検出サブシステムの事業化時期は追加検討が必要なため未定

株式会社メランと日本光電工業株式会社の技術を融合

“ハミングビュー”は、メラン社のHFO人工呼吸器ハミングシリーズの技術をベースに日本光電工業社の生体モニタリング技術と遠隔通報技術との連携が可能な形で製品化を図りました。

“ハミングビュー”は、CEマークを取得し来年の早い時期に日本光電工業社の海外ネットワークを活用し販売を開始する予定です。



国際医療技術専門見本市(MEDICA)出展
日本光電工業社ブース
説明用パンフレット部分